

平成28年度 第1回富山県道路安全・円滑化検討委員会 議事概要

開催日時：平成28年7月25日(月) 13:30~14:55

開催場所：富山河川国道事務所 3階大会議室

出席者：富山国際大学現代社会学部教授
富山県商工会議所連合会事務局長
公益財団法人富山県交通安全協会専務理事
北日本新聞社編集局報道本部長
中日本高速道路(株)金沢支社保全・サービス事業部交通管制チームリーダー
富山県警察本部交通部交通規制課長
北陸信越運輸局富山運輸支局長
北陸地方整備局富山河川国道事務所長
富山県土木部道路課長
富山県土木部都市計画課長

議 事：(1) 渋滞対策

- 1) これまでの検討経緯
- 2) 県内主要渋滞箇所の動向
- 3) 意見聴取方法の改善
- 4) 今後の進め方について

(2) 事故対策

- 1) これまでの検討経緯
- 2) 安全走行阻害箇所(概要・進捗状況)
- 3) 対策実施事例
- 4) 対策実施効果
- 5) 新規登録候補区間
- 6) (新)安全走行阻害箇所

議事要旨

(1) 渋滞対策

① 県内主要渋滞箇所の動向

- ・ 田尻交差点・八町交差点は、渋滞損失時間が平成 24 年度と比べかなり増加している。これらの交差点は何かしらの対策が必要ではないか。
- ・ 富山・高岡地域を除く地域の渋滞損失が減少した要因について、詳細に分析してはどうか。
- ・ 国道8号魚津滑川BPのボトルネックは解消したが、江口交差点(富山側)が複雑な交差点となっており、走行車線がわかりづらい。事故の発生要因ともなるため、案内誘導など何か対策が必要ではないか。

② 意見聴取方法の改善

- ・ アンケート意見が多くなるよう、委員会 HP の名称を変更してはどうか。
- ・ 興味を持ってもらえるよう運転技術や観光施設の情報など、道路利用者に役立つ身近な情報やエピソードを加えるなどの工夫をしてはどうか。

(2) 事故対策

- ・ H27 の富山県の死傷事故件数が H24 に比べ 3 割減った理由がわかれば、今後活用できると思われるので、要因等を分析してはどうか。
- ・ 高岡市の新吉久電停部は、道路拡幅等により乗降場の確保が必要ではないか。
- ・ カラー舗装、追突注意、注意喚起や段差舗装も事故対策に効果的と考えられる。道路管理者として対策を検討してほしい。
- ・ 高速道路の事故は、冬期対策を実施することで事故が減少している。冬期の気象状況等も考慮して分析してはどうか。

以 上